

JForest

森と林の自然から

2016

第43号



〈編集・発行〉

最上広域森林組合

事務所：山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川270の1

やまびこ だより



第21回通常総代会 …… 2

平成27年度事業実績 …… 3

平成28年度計画運営の基本方針 …… 4



経営計画について …… 5

特産加工場お知らせ等 …… 6

最上町

「富沢のトチノキ」

樹高 約30m 樹周 6.25m

山形県指定天然記念物 (1956年9月28日指定)

第21回通常総代会



最上広域森林組合 第二十一回通常総代会が五月二十七日（金）新庄市民文化会館小ホールを会場に開催致しました。

来賓に、最上総合支庁長（代理）産業経済部森林整備課長 梅津勘一氏 最上地方町村会 高橋重美氏 山形森林管理署最上支署長 中尾昌弘氏 山形県森林組合連合会代表理事会長（代理）代表理事常務 渡邊真治氏 最上総合支庁産業経済部 森林整備課木材流通対策主幹 新田喜平氏 国立研究開発法人森林総合研究所森林整備センター山形水源林整備事務所 興水猛氏 農林中央金庫 山形支店長（代理）農林水産環境事業班次長 杉山和広氏 山形県林業公社理事長（代理）参事 三浦直美氏をお迎えし総代数二〇〇名 現在総代数一九四名 本人出席五六名 代理委任出席一名 書面出席一二二名の出席を得て行われました。議長に、真室川町総代の高橋忠助氏を選出し提出議案を審議した結果、全議案が満場一致で原案通り可決承認されました。

議決された議案は次の通りです

議案第一号 平成二十七年事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件（資料一）

議案第二号 平成二十八年事業計画設定の件（資料二）

議案第三号 平成二十八年借入金の最高限度決定の件

議案第四号 平成二十八年一組員に対する貸付金並びに債務保証の最高限度額の決定の件

議案第五号 平成二十八年役員報酬額の決定の件

議案第六号 平成二十八年余剰金の預け入れ先の決定の件

議案第七号 造林補助金取扱手数料決定の件

平成二十七年 決算の概要

昨年九月、集中豪雨による被害が最上地方を襲いました。当組合においても県道、市町村道並びに林道、作業道の被害が事業遂行に重大な影響を及ぼす結果となりました。

そのような中で、昨年十一月に第一回「全国森林ノミクスサミットin山形」が吉村知事の提唱により、山形市において盛大に開催されました。今後の山形県における森林林業の発展と木材利用拡大につながる、大きな力となることを期待されるサミットとなりました。

当組合も森林施業集約化を進め森林経営計画を積極的に樹立し、組合員が安心して森林組合へ委託が出来るよう、「森林施業プランナー」の育成に力を入れ、平成二十七年年度末現在、五名のプランナーが組合員の森林に関して、経営計画作成の実務に従事しております。組合員の方々により多くの還元が出来るようあらゆる制度を活用し、また有利な木材の販売が出来るよう今後も最大の努力をしてまいり所存であります。

平成二十八年度には、林業界が心待ちにしていた山形県立農林大学校がいよいよ開校します。将来の森林林業を担う人材が誕生し、さらに森林林業が活性化されることを期待したいと思います。また、二十八年度は新庄市に進出した大型集成材工場が秋以降に稼働する予定です。二m材を主体とした原木供給体制を確実に構築し、さらに従来から既存の地元大型製材工場とのA材供給体制をさらに強固なものとし、組合員からの付託に答えられるよう益々努力して参ります。

バイオマス発電及びバイオマス熱エネルギーへの木質チップの需要が拡大している中、もがみ森林「創」産業推進大会が開催され、今後、益々木質バイオマスエネルギー用のCD材の需要は高まってくると思われれます。そのためには更なる搬出間伐推進と、皆伐・再造林施業を推進していくことが求められています。当組合としても高性能能林業機械の導入や作業員の技術向上研修等を進め、低コスト作業の充実に努め、組合員からの要望に十分答えることが出来るよう体制強化を図ってまいります。

このような状況の中で、今年度事業の総収益は、三六九、二四四千円で事業総利益一〇八、九三一千円税引き前当期純利益が四、三一九千円を計上することとなり、当期剰余金は三、七一九千円で対前年比は取扱高、総利益が若干下回る結果となりましたが、未処分剰余金も一二、七一九千円計上することが出来ました。

この一年間、組合員、国、県、市町村並びに関係機関のご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後ともなお一層のご理解、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

損益計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日 (単位：円)

科目	小計	合計	事業区分					
			計	指導	販売	加工	森林整備	
I 事業総損益								
1 事業総収益	369,244,461		369,244,461	0	178,409,331	9,202,736	181,632,394	
2 事業総費用	260,312,530		260,312,530	867,311	132,022,522	7,045,609	120,377,088	
事業総利益		108,931,931	108,931,931	- 867,311	46,386,809	2,157,127	61,255,306	
II 事業損益								
1 人件費	86,708,401		86,708,401	5,636,047	32,082,108	1,300,626	47,689,620	
2 旅費・交通費	596,766		596,766	59,678	262,577	17,902	256,609	
3 事務費	2,591,809		2,591,809	259,183	1,140,395	77,754	1,114,477	
4 業務費	3,801,755		3,801,755	380,177	1,672,772	114,052	1,634,754	
5 諸税負担金	1,454,700		1,454,700	145,470	640,068	43,641	625,521	
6 施設費	10,331,414		10,331,414	1,136,456	4,597,479	154,971	4,442,508	
7 雑費	805,214		805,214	80,522	354,294	24,156	346,242	
事業管理計		106,290,059	106,290,059	7,697,533	40,749,693	1,733,102	56,109,731	
事業利益		2,641,872		- 8,564,844	5,637,116	424,025	5,145,575	
III 経常損益								
1 事業外収益	1,911,107							
2 事業外費用	22,910							
事業外損益		1,888,197						
経常利益		4,530,069						
IV 特別損益								
1 特別利益	1,013,230							
2 特別損失	1,224,055							
特別損益		- 210,825						
税引前当期純利益		4,319,244						
法人税・住民税		600,000						
当期剰余金		3,719,244						
前期繰越剰余金		8,997,982						
当期未処分剰余金		12,717,226						



平成二十八年度 運営の基本方針

本年は森林・林業基本計画の策定の年であり、全国森林計画の変更の年でもあります。集約化における森林組合の役割が益々重要となつてきます。山形県においても昨年十一月に吉村知事が提唱している「森林ノミクス」の具体的な事業として「全国森林ノミクスサミットin山形」が山形市において盛大に開催されました。山形県における森林林業の発展と雇用拡大に期待が集まっています。

更には、山形県農林大学校に新たに「林業経営学科」が新設され、将来の森林施業技術者が、活躍できるような森林組合の体制整備を行うて参ります。

新庄市に進出した大手集成材工場が本年秋に稼働する予定であります。B材を主体とした原木が、今後大量に必要となつてきます。そのような中で、我々森林組合は組合員の方々に対し、あらゆる施策を活用し、有利な木材販売が出来るよう事業の効率化に向けて経営計画団地を設定し、路網整備や高性能林業機械等を活用した低コスト作業を実践して参ります。

今年に入り山形県において、木質バイオマスを活用した発電構想が次々に発表され、最上地域においても二つの計画が発表されました。再生可能エネルギーである木質チップによる発電はC・D材が主体でありA・B材の増産が進めば、C・D材も増え、その供給先が稼働すれば我々にとって材の供給先が増え、さらには組合員への還元も増えるようになります。

これらのことを踏まえ、荒廃森林緊急整備や森林作業道・里山整備などの各種森林整備の補助制度を活用しながら荒廃した森林の健全化・再生に全力で取り組んでまいります。

業務管理においても、管理費等を改善しながらコストを縮減し、経営の安定化を図り健全な財務基盤と効率的な事業運営に努めます。今後とも関係各位のご指導とご協力をお願いし、目標達成のため役員一丸となつて努力して参りますので、宜しくお願いいたします。

◆ 指導部門 ◆

広報誌『やまびこだより』を年二回発行し、組合員の皆様に最新の情報を提供し、組合と各地区の総代や組合員との連携を密にして、森林林業の活性化を推進して参ります。

労働安全や災害防止に積極的に取り組み、安全用具の整備を行い、各種研修会等の開催や地区の安全大会へ参加し、「ゼロ災」に努めます。安全パトロール等を実施、役職員及び作業員を研修会等に積極的に参加してまいります。

森林・林業における人材育成に重点を置き、講習等を受講して素材生産事業並びに森林整備事業の現場技能者に必要な、資格取得研修に参加し、フォレストリーダー育成に取り組みます。

森林経営計画の策定や提案型集約化推進のために、森林施業プランナーや林業技術者の育成に取り組みます。

「やまがた緑環境税」の基本理念をPRしながら、森林の公益的機能が持つ役割を理解していただき

荒廃森林の整備を行政機関と連携しながら推進して参ります。

◆ 販売部門 ◆

木材価格の低迷は依然厳しい状況にあります。利用間伐に重点を置き、更には「皆伐」事業にも積極的に取り組み、低コスト生産を實踐し、丸太の増産を進め、無垢材や集成材及び合板用材の生産と、バイオマス用C・D材の増産を図つて参ります。県森連共販所や地域の製材所と連携し有利な販売に努めます。

土木資材は公共事業等の減少で厳しい状況ですが、県産間伐材を活用した新たな木製品を開発し、従来の看板・イス・テーブル・木製クリンステーション等をPRしながら販売推進に努めます。

山菜加工工場は地元特産品として、春の自然山菜・筍や秋の原木なめこの生産販売に努め、缶詰・瓶詰類を自然食品として販売に努めます。

◆ 加工部門 ◆

二十七年年度末をもって製材工場は廃止することとなりました。今まで組合員の皆様や、地域の工務店の方々には、本当にお世話になりました。長年のご愛顧に深く感謝申し上げます。製品等につきましても、販売部門で対応して参ります。今後もしよろしく願います。

◆ 森林整備部門 ◆

「やまがた緑環境税事業」を積極的に推進し、荒廃森林の健全化を図り、未整備森林のゼロを目標とし、長期育成林・混交林・里山林整備、森林作業道など県・市町村・森林所有者と密接な連携を図りな

がら進めていきます。

今後の森林整備は搬出間伐が主体になります。初回間伐は該当する補助事業を確保しながら、進めて参ります。木材生産が増加すれば、皆伐事業も必然的に増加することから、未植栽地が増えないよう、再造林施業を積極的に進め、循環型施業に取り組んで参ります。森林作業道等路網の整備を推進し、造林・保育・伐採搬出と一体的施業が出来るよう、取り組んで参ります。

森林整備促進・林業等再生交付金事業は、路網が中心となり、間伐については新たに新規事業が始まることになりました。そのような中で組合は高性能林業機械を利用して搬出間伐や森林作業道等を進め、生産経費等の低コスト化を図ります。

国・県等の事業を展開しながら労働安全と労働安全指導等を強化し、ゼロ災に向けて努力します。

森林整備事業では、国有林・森林総合研究所・県・市町村・林業公社等関係機関のご指導をいただきながら事業展開に努めます。

病害虫防除では被害木伐採・除去・ナラ枯れの樹幹注入等を関係機関のご指導を仰ぎながら、公益的機能の高い健全な森林の育成・整備を行い、森林資源の総合的な造成、組合員の森林経営の向上に努めます。

苗木関係では、果樹苗木・緑化木・杉苗木等の斡旋・販売に努めます。購買事業では、環境や自然への関心が高まり、種駒菌類等(原木ナメコ・シイタケ・他のきのこ)の販売に努めます。又、鉈や長靴等の林業資材も販売推進いたします。

森林経営計画について

森林施業計画

個々に森林の施業を実施



森林経営計画

面的なまとまりのある森林の施業及び保護を実施



「山の手入れをしたいが、負担金が気になる」

という森林所有者の方が多いのではないのでしょうか？

補助制度を活用することで、自己負担金を軽減することができます。

さらには、間伐材を搬出し販売することにより、森林所有者の皆様にも材代金として、還元できる場合もあります。

間伐等を行う森林の現況、面積及び林齢などの要件を満たす事で、森林経営計画を作成し、認定を受ける事ができます。

【森林経営計画とは】

- ◆ 「森林経営計画」の認定を受けると支援（補助金）や税金などの優遇処置が受けられます。
- ◆ 森林を集約化し、どのように施業・保護していくか、また路網をどのように整備していくかなどについての5年間の計画を樹立し、市町村長の認定を受ける制度です。
- ◆ 集約化（団地をまとめる）施業を行うことにより作業の効率化、低コスト化を図り、対象区域内で森林の整備及び路網開設等を行った場合に限り補助金の支援対象となります。

【森林組合が森林の経営委託を受け森林経営計画を策定する場合】

- ◆ 森林所有者との**森林経営委託契約書の締結**が必要となります。
- ◆ 契約期間は5年以上

山形県立農林大学校 インターンシップ

6月15日から6月26日にかけて、山形県立農業大学校において今年度から新設された林業経営学科に入学した三名の学生が先進農林業者等体験学習として当組合でインターンシップを実施致しました。



研修では、高性能林業機械を活用し搬出間伐等を行っている現場での伐採から搬出までの作業の流れを見学し、また、実際に三名の研修生にもチェーンソーでの立木の伐倒・造材さらに、森林調査等を体験し学びました。

職員人事

総務課 総務課 課長 総務課総務係兼販売課会計係 総務課主査 総務課会計主査 総務課係	渡部 伸也 黒坂いずみ 長澤 勇夫 杉原 千恵 笠原 雄平
森林整備課 森林整備課 課長 森林整備課 課長補佐 森林整備課主査 森林整備課係長 森林整備課係 森林整備課係兼販売課係	松澤 強 高橋 雄一 渡部 勝義 井上 敏行 越後 麻美 沓澤 重泰 奥山 宏太
林産振興課 林産振興課 課長 林産振興課 課長補佐 林産振興課会計係長 林産振興課係長 林産振興課係	沓沢 卓美 斎藤 慎士 森 恵子 鈴木 健一 佐藤 徹
販売課 販売課 課長 販売課加工場係 販売課加工場会計係	佐藤 弘一 阿部 和也 佐藤 和也 佐藤 和子



朝早くからお越し頂き、お買い求め下さいました皆様方、誠にありがとうございました。

大好評!!
山菜まつり
お礼

特産物加工場より

★委託加工では、一年を通して生の小豆、ささぎ豆、黒豆を缶詰に出来ます。★

- ・各豆 1 升に対して砂糖 2 kg をご一緒にお持ち下さい。
- ・ 1 缶 250 円 生豆 1 升につき約 12 ~ 14 缶 3,000 円から 3,500 円程度



月曜日～木曜日 は 午後 5 時 まで
金曜日 は 午 前 中 まで

受付しております



★購買品では、長靴・地下足袋・笹刈刃・鉋・鋸・鎌等の林業資材を中心に★
多くの商品を取り扱っております。

当店で取り扱っていない林業関係の商品もご相談頂ければ取り寄せ販売も可能です。
ご来店心よりお待ちしております。

組合員の皆様へ

住所や氏名に変更が生じた際は、手続きが必要となりますので、当組合までご連絡下さい。

最上広域森林組合

TEL 0233(62)2102
FAX 0233(62)2953